



幻想の響宴でライトアップされた五重塔をバックに大蛇退治を舞う備中神楽総社中[5/3]



吉備路れんげまつりの「れんげ畑で遊ぼう」で、れんげを摘んで楽しむ子どもたち[4/29]



吉備路れんげまつりのステージ[4/29]

春の吉備路を楽しむ

吉備路れんげウィーク

4月28日から5月6日までの9日間、「吉備路れんげウィーク」と題し、さまざまなイベントが備中国分寺などで開催され、多くの人が春の吉備路を楽しみました。

期間中毎夜ライトアップされた備中国分寺五重塔と、期間終盤に見ごろを迎えたレンゲを訪れた人は酔いしれていました。



和太鼓ライブのワークショップで和太鼓をたたく体験をする人たち[5/5]



吉備路再発見写生大会で五重塔を描く子ども[5/3]

県内最大の物流施設 建設始まる

GLプロパティーズ株式会社「GLP総社」起工式

岡山総社インターチェンジ西側の長良地内に進出を決めたGLプロパティーズ株式会社（東京都港区）が運営する大型マルチテナント型物流施設「GLP総社」の起工式が5月11日に行われ、関係者ら約50人が工事の無事を祈りました。

同施設は鉄筋コンクリート地上5階建てのテナント型の物流施設（延床面積約7万8000㎡）。両備ホールディングス株式会社が平成25年2月を目途に建設し、完成後GLプロパティーズに売却する計画です。



長良地内の建設地で行われた起工式で工事の無事を祈る



市職員の意識の向上を目指して

意識改革研修

市職員を対象にした意識改革研修が総合福祉センターで開かれ、元横浜市長で大阪市特別顧問の中田宏さんが「今、求められている地方自治」と題して講演しました。

講演には、市幹部職員や新採用職員ら約100人が出席。中田さんは、「行政が市民に何をやるかではなく市民に何を求めるかが大切だ」と説きました。また、横浜市長時代の経験から、「職員同士がコミュニケーションをとり合い、運命共同性を高めてください」と、職員全員で心をひとつにする必要があると話しました。



講演をする中田宏大阪市特別顧問

●ミニフォト

100歳おめでとう



祝福され、笑顔の高杉さん

高杉喜美子さん（延原）が5月1日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。昔から大きな病気をされることがなかったという高杉さん。長寿の秘訣は「自由気ままに生活してきたこと」だそうです。

本に親しむ



本を選ぶ子ども

読書に興味をもってもらうと、子ども読書の日4月23日に合わせ、21日・22日の両日、市図書館で子ども読書デイを開催。絵本の読み聞かせやパネルシアターなどが行われ、訪れた子どもたちは思い思いに本を楽しんでいました。

春の動植物とふれあう



植物の説明を聞く参加者

自然観察会「春の動・植物」が4月21日、鬼城山ビジターセンター周辺で開かれました。小学生以下の子どものとその保護者、約20人が参加。子どもたちはおたまじゃくしやタンポポなどを見て、春の生命を肌で感じていました。

文部科学大臣表彰を受賞



子どもの読書活動が評価された

市図書館が文部科学大臣表彰を受賞しました。5月2日には図書館長や読み聞かせボランティアを代表してドリームブックネット総社の代表川上重子さんとおはなしを語る会の代表大森文子さんが市長に受賞の報告をしました。

メーデーを楽しむ



盛り上がる抽選会

吉備路ふれあいメーデーが4月29日、カミガツジプラザで開かれました。大道芸やコンサート、抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。また、市内20の労働組合が出店を行うなど、会場は多くの人でにぎわいました。

大空を泳ぐこいのぼり



ロープを引っ張りこいのぼりをあげる子ども

子どもたちの健やかな成長を願い、見延橋こいのぼりが4月21日、見延橋こいのぼりをあげました。子どもと保護者ら約50人でロープを引っ張ると、こいのぼり26匹は歓声とともに高く舞い上がり、元気に泳いでいました。